



進化する北海道森林管理局にご注目ください

北海道森林管理局長 吉村 洋

広報担当者とともに

読者の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

旧年中は、北海道国有林の管理経営と北海道森林管理局の取組に、あたたかいご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

私事ですが、このお正月、箱根駅伝を往路復路とも沿道で応援してきました。

間近を走る選手は映像で見るよりもはるかに気迫に溢れ、光り輝いていました。目標に向かうひたむきな若者の姿を見て、本年も北海道国有林の管理経営と北海道の林業・木材産業の成長のために全力で取り組んでいこうという思いがみなぎりました。

さて、森林・林業や木材について、国民の皆様の理解は年々進んでいるように感じます。かつては木を使うことは森林破壊だという運動が盛り上がった時期もありました。

しかし、今では豊かな水をたくわえ、災害や地球温暖化を防ぎ、様々な動植物をはぐくむなどの森林の様々な恵みを享受していくためには、木材を積極的に使い、植えて育てていくことがとても大切であると理解いただけているのではないのでしょうか。

実際に、木材、とりわけ道産材を使ったオフィス、学校、商業施設などが続々と建設され、市民団体や企業などによる森林づくり活動も盛んになってきています。

こうした中、北海道森林管理局では、国民の皆様にもっと森林・林業や木材のことを知っていただきたいという思いから、各地でのイベントの開催のほか、若手有志が中心となって、林業の作業と働く人の生の声をお届けする「働く森人シリー

ズ（地拵え編、植付編、下刈り編）」や、森林・木材や国有林現場の魅力を職員が体当たりでご紹介する「日本のお山森アゲ隊シリーズ（全7編）」をYouTubeで配信しているほか、安全に登山を楽しんでいただくために北海道警察や環境省のご協力も得て作成した携帯に便利な豆本「鳥獣登山戯画」を発行しました。

そして、昨年10月には、念願のSNS（FacebookとInstagram）も開設しました。

今年は、これらの取組を一層進化させます。

例えば、「働く森人シリーズ」には除伐編と主間伐編を加えて更に充実させます。SNSでは職員が足で見つけた絶景スポットをご紹介するほか、当局「キッズページ」などによる小学生への授業の試行（札幌市内）や、昨年に続いて「ザロイヤルパークキャンパス札幌大通公園」等外部団体とコラボしたイベントでの森林や木材の魅力を五感で楽しんでもいただける企画を準備しています。

さらに、子ども達に木のおもちゃに触れて楽しんでもらっている本局一階ウッディーホールでは、道内市町村の森林や木材が織りなす豊かな風土もご紹介してまいります。

これからも北海道森林管理局は進化を続け、皆様にとって価値のあるコンテンツを発信してまいります。ぜひご注目ください。

より多くの皆様に森林・林業や木材・木材産業の応援団になっていただき、そのお力もお借りしながら、豊かで果てしなく広い北海道国有林の質を高めて次世代に継承してまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますことをお祈りし、新年の挨拶といたします。